ViewSonic®

XG2702

LCD ディスプレイ
ユーザーガイド

モデル番号 VS17019
P/N：XG2702/XG2702-7

ViewSonic®をお選びいただき、
ありがとうございます。

> 安全上のご注意

この製品をお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- ご使用の際は、ディスプレイから45cm以上離れて座ってください。
- 換気を妨げないよう、ディスプレイの周囲、最低10cmは、清潔な状態を保ってください。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に 熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- ディスプレイは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細は、「メンテナンス」の章（55ページ）をご覧ください。
- 素手で画面に触れると指紋がついて汚れてしまう場合があります。画面部分のお手入れについても、「メンテナンス」の章（55ページ）をご覧ください。
- 画面の表面は傷つきやすいので、鋭利なものや硬いもので触れないようにしてください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶつけたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店またはViewSonic®にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは２つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。

- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようにご注意ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
  - » 電源コードまたはプラグが破損している。
  - » 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
  - » 雨や湿気にさらしてしまった。
  - » 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。
- 注意事項イヤホンやヘッドホンを使用する際は、音量を適切なレベルまで調整してください。長時間大音量で聴いた場合、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
- 注意事項ディスプレイが過熱して、シャットダウンする場合があります。ディスプレイが自動的にシャットダウンした場合は、ディスプレイをもう一度オンに切り替えてください。再起動後、ディスプレイの解像度とリフレッシュ速度を変更してください。詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドを参照してください。

> 目次

安全上のご注意 3

はじめに 7

付属品 7

各部の名称 8

セットアップ 9

スタンドの取付 9

壁かけでご使用する場合 11

セキュリティスロットの使用 13

本体の接続 14

電源との接続 14

外付け機器との接続 15

HDMI接続 15

DisplayPort接続 16

USB接続 17

オーディオ接続 18

ディスプレイの使用 19

視聴角度の調整 19

高さ調整 19

傾き角度調整 20

ディスプレイ方向調整（ディスプレイピボット) 20

スウィーベル角度調整 22

本体電源のオン／オフ 23

コントロールパネルキー（ボタン）の使用 24

ゲームモード選択メニュー 24

設定 25

一般的な操作 25

メインメニュー構成 28

メニューオプション 33

拡張機能と設定 44

ランペイジレスポンス 44

リフレッシュレート 45

ViewScale 46

付録 47

仕様 47

用語説明 48

トラブルシューティング 53

メンテナンス 55

お手入れの際の注意 55

画面のお手入れ 55

ケースのお手入れ 55

規制およびサービス情報 56

コンプライアンス情報 56

FCCコンプライアンス声明 56

カナダ産業省の声明 56

欧州諸国のCE適合 57

RoHS2コンプライアンス宣言 57

インドの有害物質規制 58

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄 58

著作権情報 59

カスタマーサポート 60

> はじめに

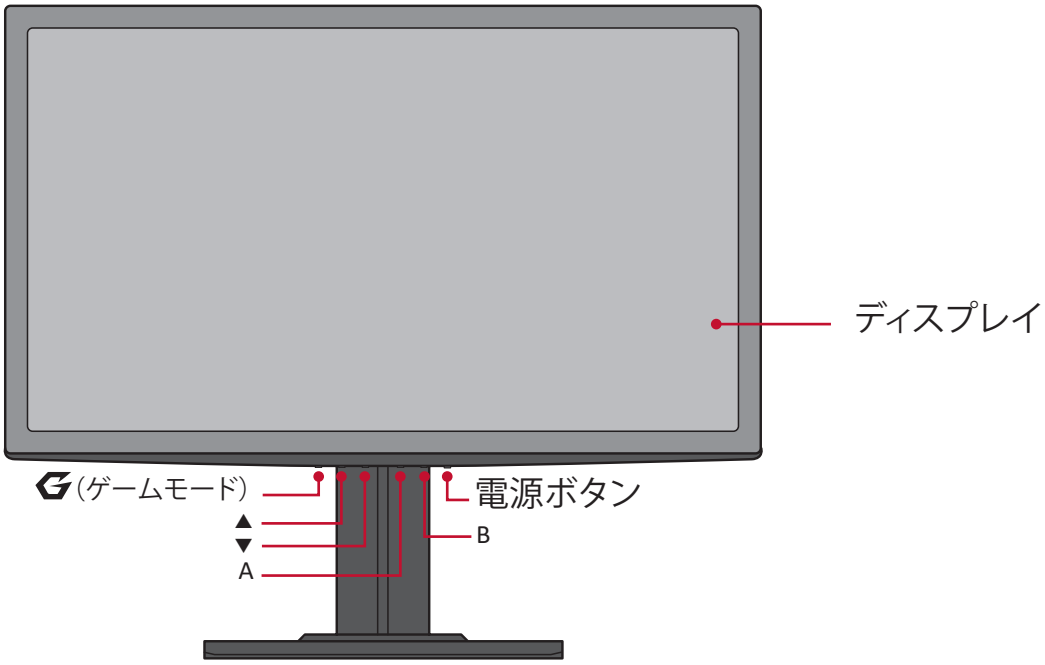
付属品

- モニター
- 電源コード
- ビデオケーブル
- クイックスタートガイド

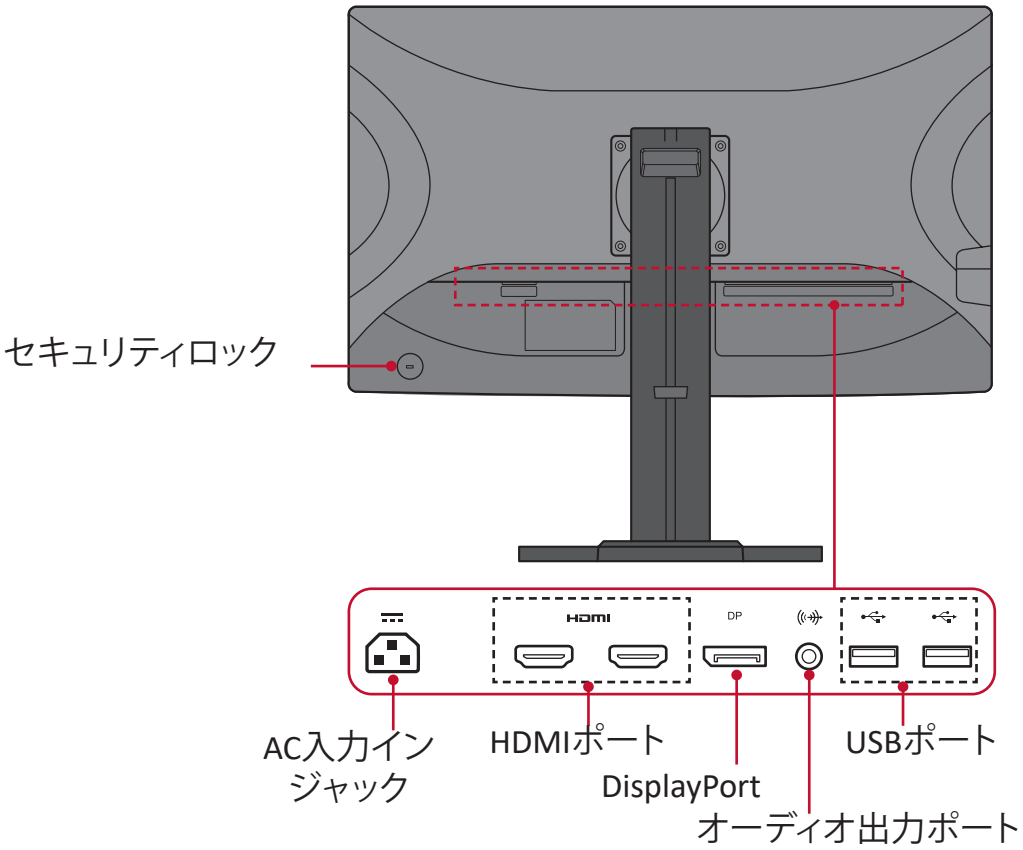
注意事項： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

各部の名称

前面


ディスプレイ
(ゲームモード)
電源ボタン
B
A

背面

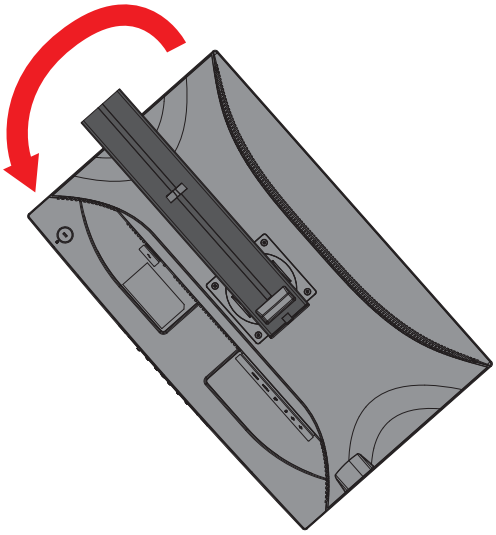

セキュリティロック
HDMI
DP
AC入力イン
ジャック
HDMIポート
DisplayPort
USBポート
オーディオ出力ポート

> セットアップ

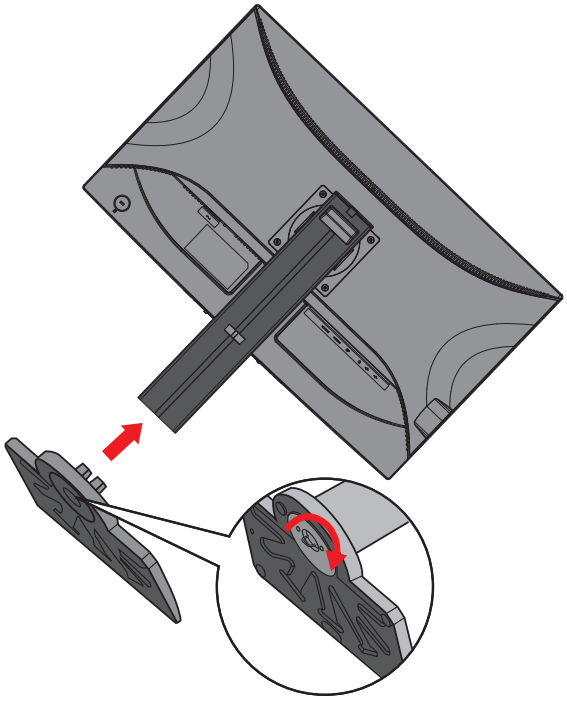
本章では、本体のセットアップについてご説明します。

スタンドの取付

1. 画面を下にした状態で、モニターを平らで安定した面に置きます。
2. 片手でモニターを支えながら、下図に示すようにモニタースタンドのネックを慎重に90度回転させます。

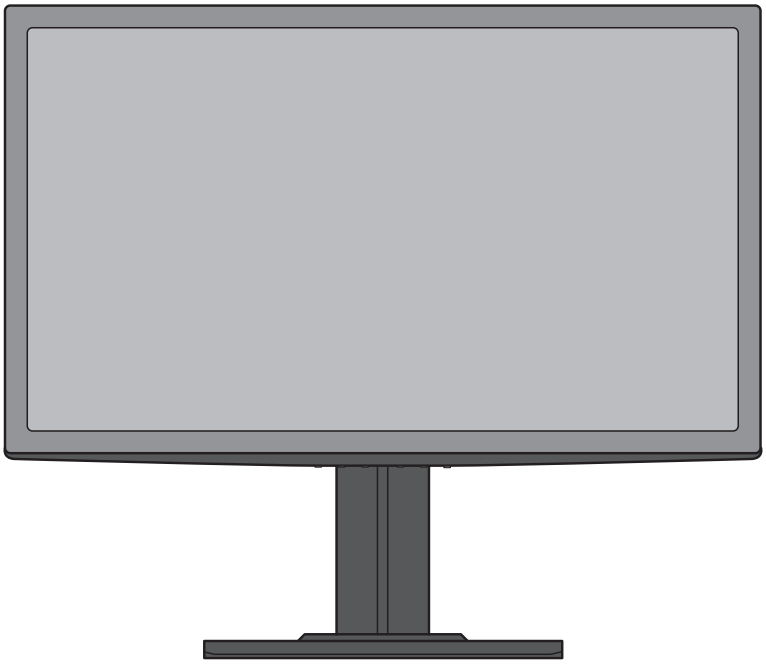


3. ディスプレイスタンドのベースの2点をディスプレイスタンドのネックに合わせて接続します。



4. ディスプレイスタンドのベースに取り付けたネジを使用し、ディスプレイスタンドのネックに固定します。

5. 本体を持ち上げ、平らで安定した面に垂直に置きます。



注意事項： 本体は常に、平らで安定した面に置いてください。そうしなかった場合、本体が落下し、本体の損傷および/または人体への傷害が発生する可能性があります。

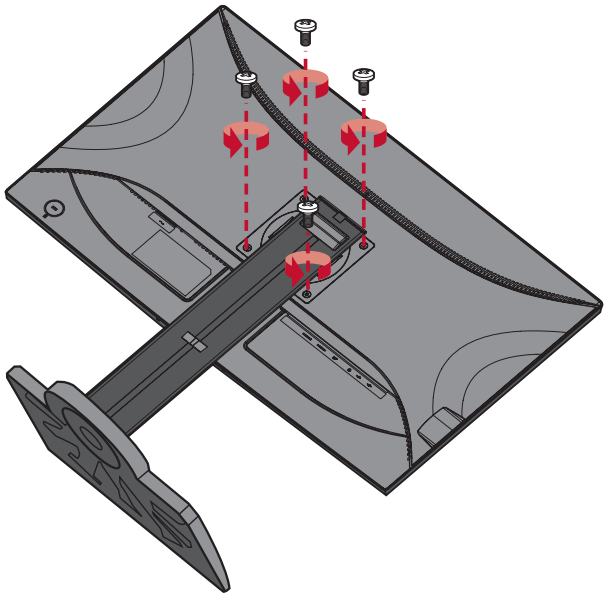
壁かけでご使用する場合

壁取り付けキットの標準寸法については、下の表を参照してください。

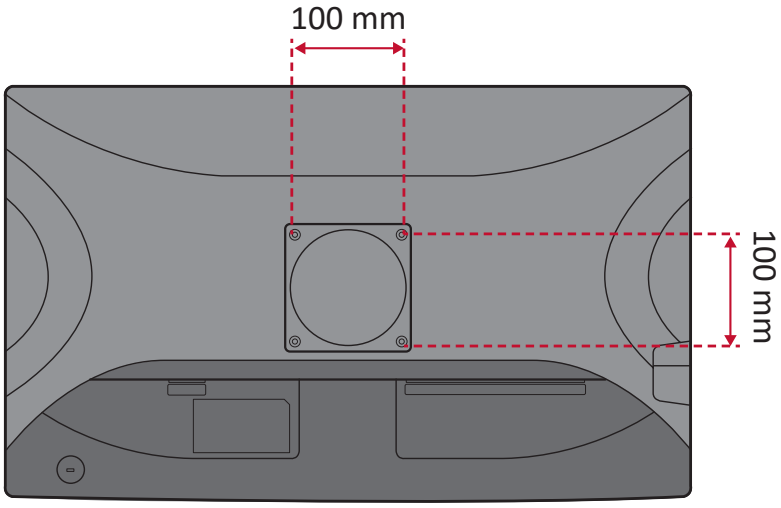
最大荷重	穴パターン（W x H）	インターフェイスパッド(W x H x D)	パッド穴	ネジの仕様および数量
14 kg	100 x 100 mm	115 x 115 x 2.6 mm	Ø 5 mm	M4 x 10mm 4個

注意事項： 壁取り付けキットは別売です。

1. 本体の電源を切り、全てのケーブルを外します。
2. 画面を下にした状態で、本体を平らで安定した面に置きます。
3. スタンドをディスプレイに固定している4本のネジを外します。次に、スタンドを慎重に取り外します。



4. 取り付けブラケットを、本体背面にあるVESA取り付け口に取り付けます。その後4箇所を、取り外した4本のネジ（M4×10mm）で固定します。

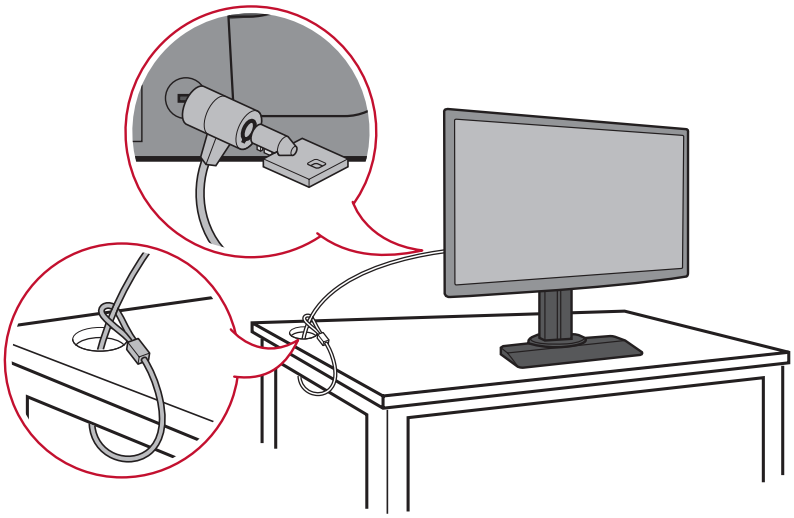


5. お客様が購入された市販の壁取り付けキットに付属の取扱説明書に従い、ディスプレイを壁に取り付けます。

セキュリティスロットの使用

本体の盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、本体を固定物に固定します。

以下は、テーブルにセキュリティスロットロックデバイスを設定する例です。



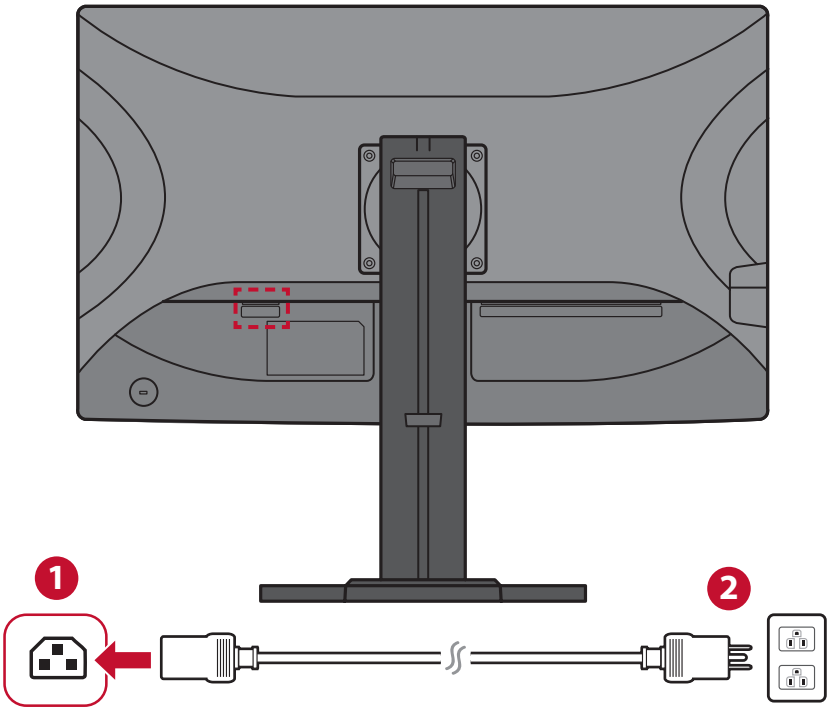
> 本体の接続

本章では、本体と他の装置との接続方法をご説明します。

電源との接続

1. 電源コードを本体後側のAC入力インジャックに接続します。

2. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。

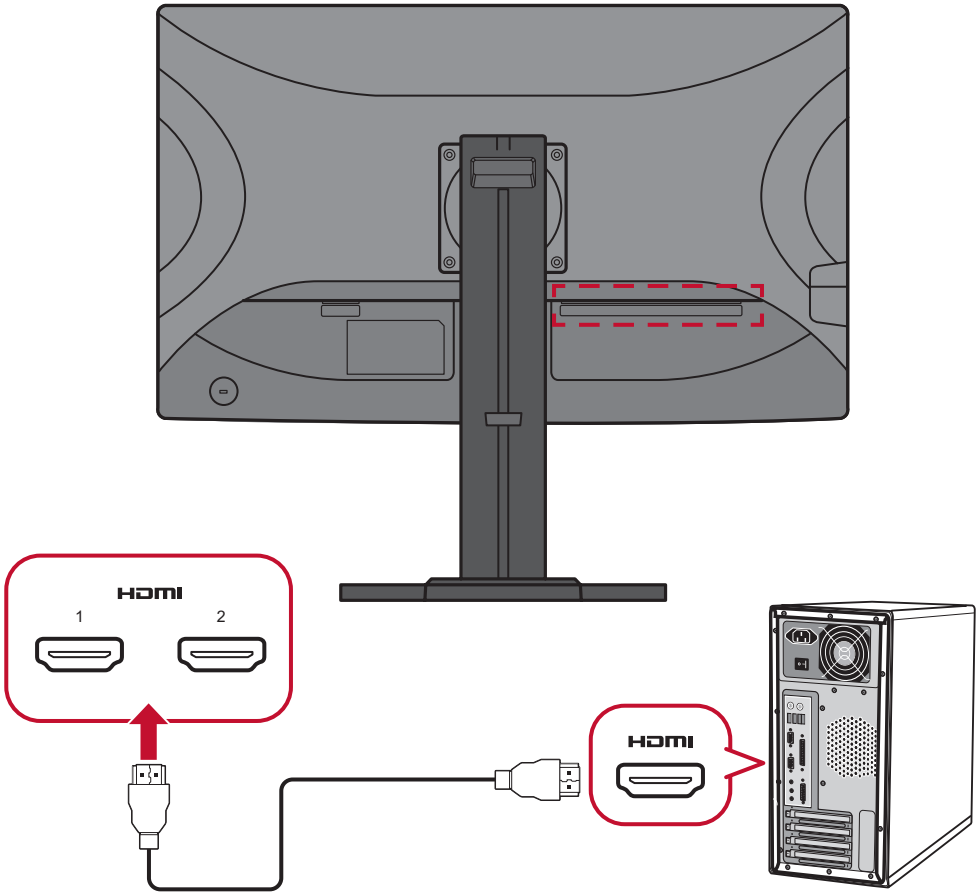


外付け機器との接続

HDMI接続

HDMIケーブルの片方をディスプレイ側のHDMIポートに接続し、もう一方をコンピュータのHDMIポートに接続します。

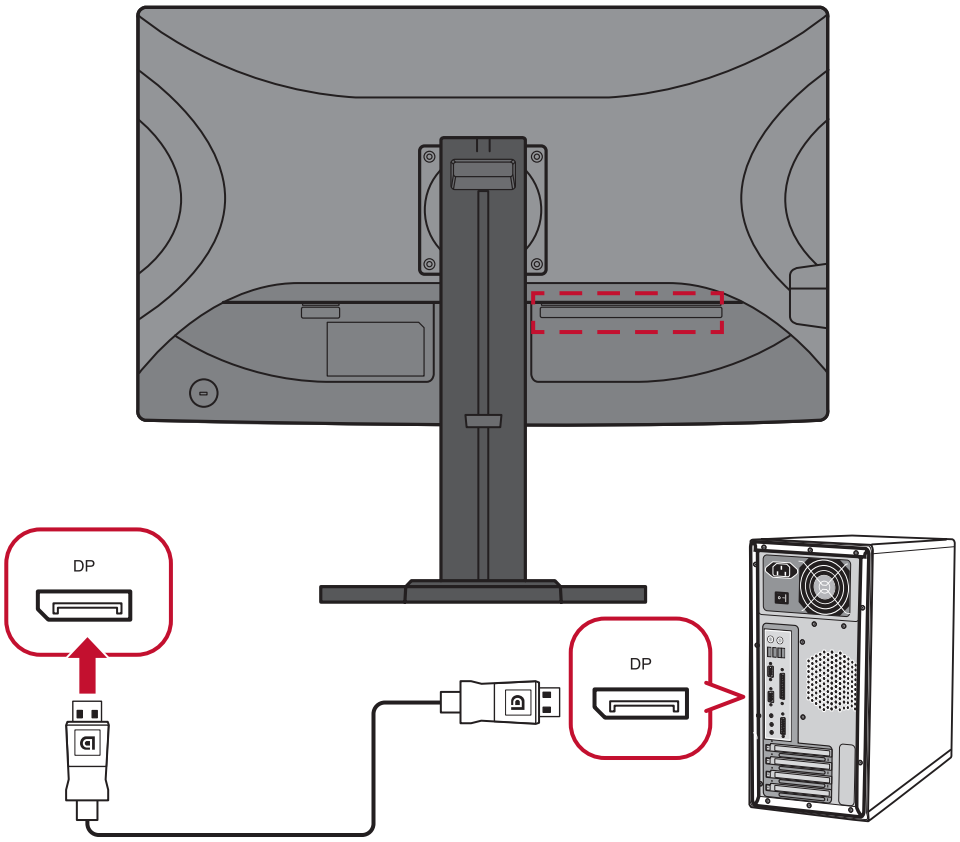
注意事項： モニターには、2つのHDMIポート（HDMI 1.4とHDMI 2.0）が搭載されています。



DisplayPort接続

ケーブルの片方をDisplayPortに接続し、もう一方をコンピュータのDisplayPortまたは MiniDPポートに接続します。

注意事項： MacのThunderboltポート（v.1&2）にディスプレイを接続するには、「Mini DP to DisplayPortケーブル」のMiniDPの先端をMacのThunderbolt出力に接続します。その後ケーブルのもう一方を、モニターのDisplayPortポートに接続します。

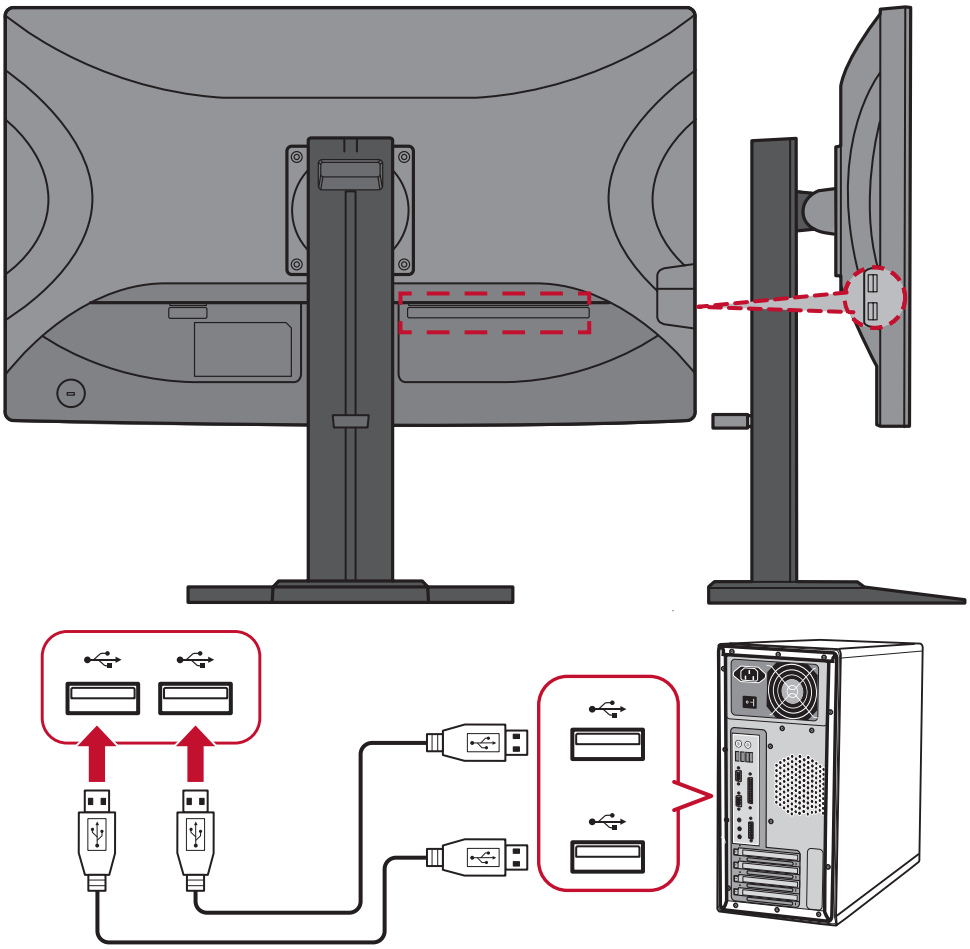


USB接続

USBケーブルの片方をディスプレイのUSBポートに接続し、もう一方を
|コンピュータのUSBポートに接続します。

注意事項： ディスプレイは2種類のUSBポートをサポートしています。接続する際は、次のガイドラインに従ってください：

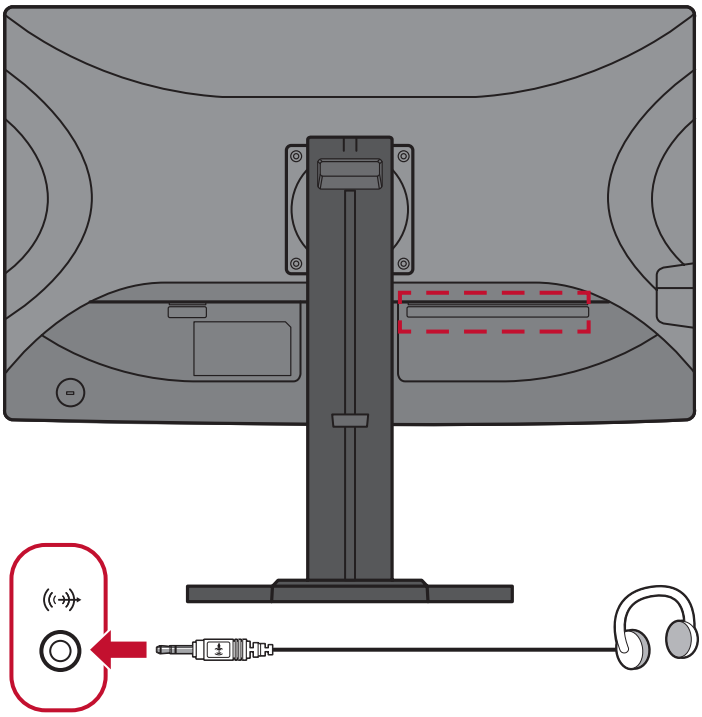
- 4つのUSB type-Aポート：USBケーブルのタイプAコネクタをコンピュータのUSBポートに接続します。
- 1つのUSB type-Bポート：USB Bタイプオスケーブル（2カ所穴が開いている）を、このポートに接続し、ケーブルのもう一方の先端をコンピュータのUSBダウンストリームポートに接続
|します。



オーディオ接続

イヤフォン/ヘッドフォンのオーディオジャックを、モニターのオーディオ出力ポートに接続します。他にも、オーディオケーブルを使用して、
モニターをサウンドバーに接続することもできます。

注意事項： モニターにはデュアル内蔵スピーカーも備わっています。



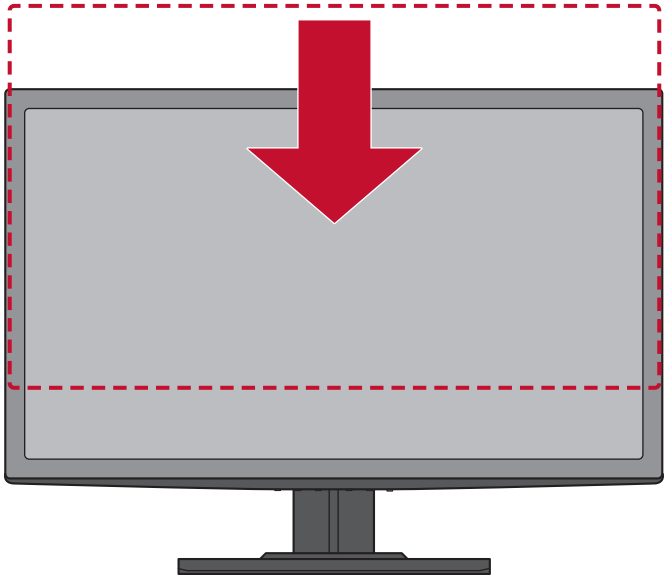
> ディスプレイの使用

視聴角度の調整

快適にご視聴頂けるよう、次の通り角度を調整できます。

高さ調整

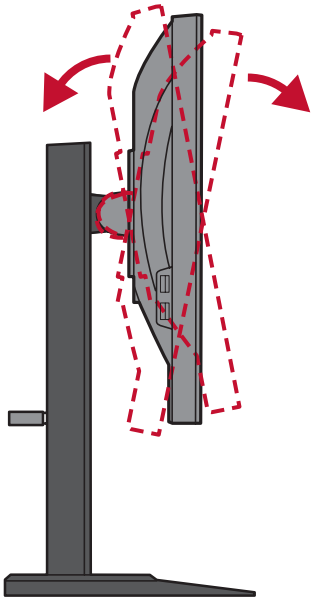
ディスプレイを上下120 mm、お好みの高さに調整できます。



注意事項： 調整するときは、両手でディスプレイを保持している調整トラックに沿ってしっかりと押し込みます。

傾き角度調整

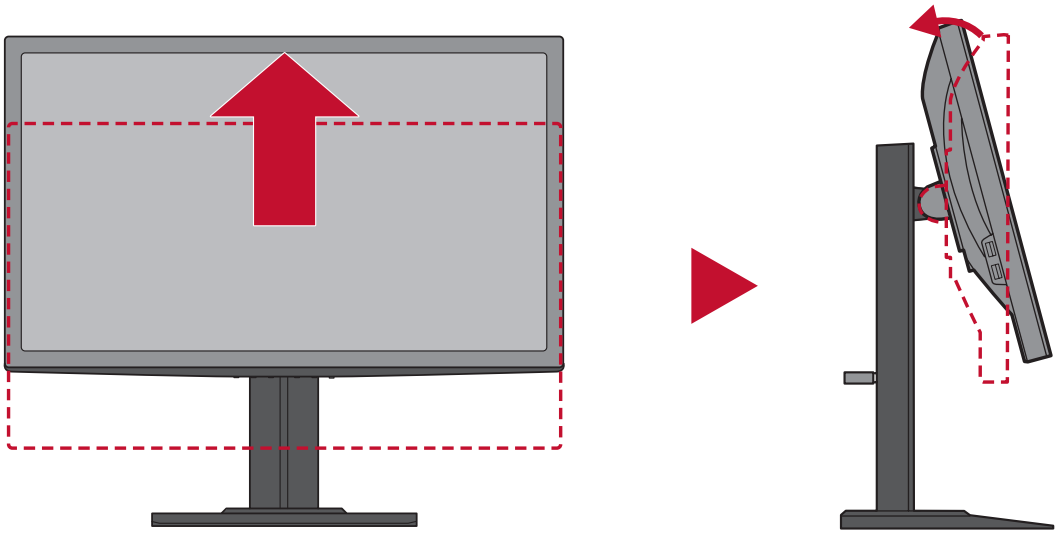
ディスプレイを前後-5°～15°まで、お好きな表示角度に調整できます。



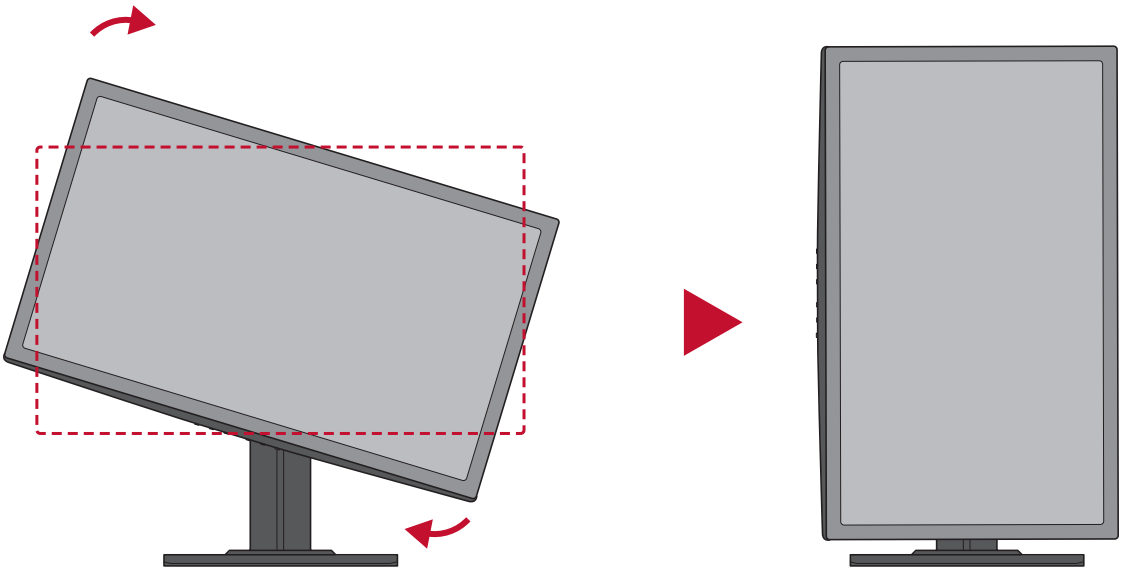
注意事項： 調整するときは、一方の手でスタンドをしっかりと支え、他方の手でモニターを前後に傾けてください。

ディスプレイ方向調整（ディスプレイピボット）

1. ディスプレイの高さを最も高い位置に調整します。次に、ディスプレイを完全な傾きの位置まで後方に傾けます。



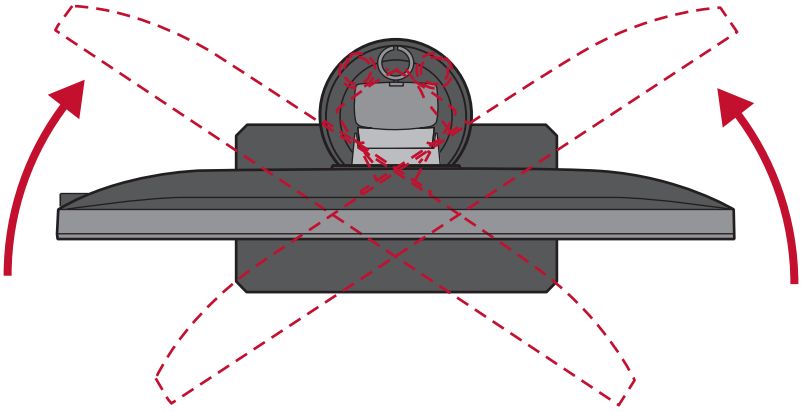
2. ディスプレイを90°時計回りに、横方向から縦方向に回転させます。



注意事項： 調整する際は、必ずディスプレイの両脇をしっかりと両手で押さえてください。

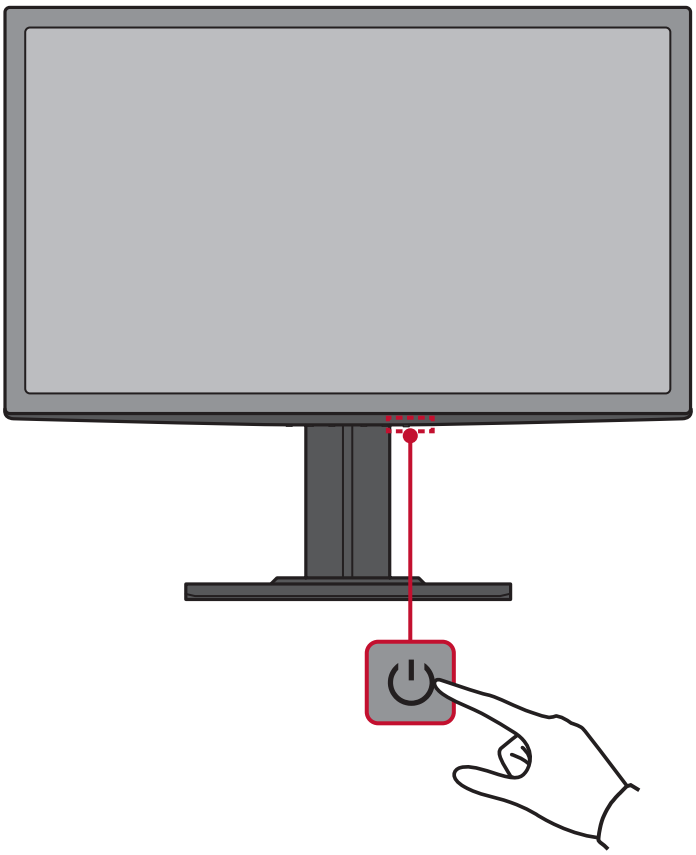
スウィーベル角度調整

ディスプレイを左右45°までお好みの表示角度にできます。



本体電源のオン／オフ

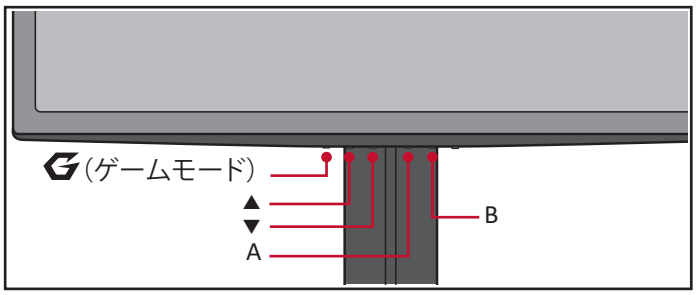
1. 電源コードをコンセントに差し込みます。
2. **電源**ボタンを押して、本体の電源を入れます。
3. 本体の電源を切るには、再度**電源**ボタンを押します。



注意事項： 本体は、電源コードがコンセントに接続されている限り電力を消費します。本体を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

コントロールパネルキー（ボタン）の使用

コントロールパネルのキーを使用して、ゲームモード選択ニューにアクセスし、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューをナビゲートし、設定を変更します。



ゲームモード選択メニュー

ゲームモードキーを押して、ゲームモード選択メニューを有効にします。

ユーザーは、ゲームモードおよび音量コントロールに素早くアクセスできます。

注意事項： 画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

設定

一般的な操作

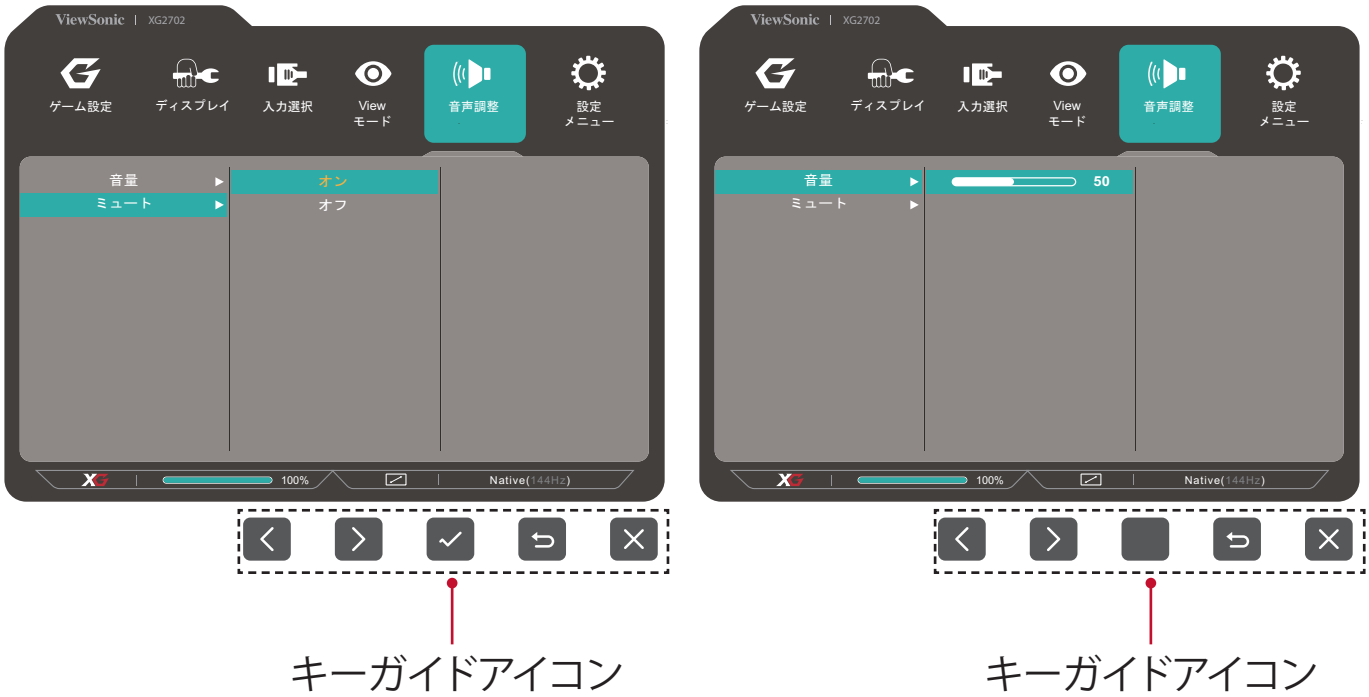
1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。

2. ▲または▼キーを押して、メインメニューを選択します。次に、Aキーを押して、選択されたメニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、目的のメニューオプションを選択します。
次に、Aキーを押して、サブメニューに入ります。

4. ▲または▼キーを押して、設定を調整/選択します。次に、Aキーを押して確定します。

注意事項： 各メニューオプションは、**A**キーを押して、選択及び変更を確定することができます。画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。



キーガイドアイコン　　キーガイドアイコン

5. **B**キーを押すと、前のメニューに戻ります。

注意事項： OSDメニューを終了するには、メインメニューが消えるまで、**B**キーを繰り返し押します。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
ゲーム設定	カスタム 1/2/3	ランペイジ レスポンス	標準	
			スピード 1	
			スピード 2	
			スピード 3	
			スピード 4	
			説明(i)	
		リフレッシュ レート	標準（144Hz）	
			60Hz	
			100Hz	
		Black Stabilization	(-/+, 0~22)	
		アドバンスDCR	(-/+, 0~20)	
		輝度	(-/+, 0~100)	
		カラー調整	コントラスト	(-/+, 0~100)
			彩度	(-/+, 0~100)
			ガンマ調整	1.8
				2.0
				2.2
				2.4
				2.6
				2.8
		Blue Light Filter	(-/+, 0~100)	
		ViewScale	フル	
			縦横比	
			1:1	
			19″ (4:3)	
			19″W (16:10)	(-/+, 0~100)
			21.5″ (16:9)	(-/+, 0~100)
			22″W (16:10)	
			23.6″W (16:9)	
			24″W (16:9)	
		名称変更		
		リセット		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
ゲーム設定	ゲームモード選択	ColorX		
		FPS		
		RTS		
		MOBA		
		Gaming Lite		
		コンソール		
		カスタム 1		
		カスタム 2		
		カスタム 3		
	AMD FreeSync	オン		
		オフ		
	リフレッシュレート	標準（144Hz）		
		60Hz		
		100Hz		
ディスプレイ	色温度	sRGB		
		青色の濃さ		
		寒色		
		標準		
		暖色		
		フルカラーコントロール	赤	(-/+, 0~100)
			緑	(-/+, 0~100)
			青	(-/+, 0~100)
	カラー調整	色空間	自動	
			RGB	
			YUV	
		色範囲	自動	
			全範囲	
			限定範囲	
		ガンマ調整	1.8	
			2.0	
			2.2	
			2.4	
			2.6	
			2.8	
		彩度	(-/+, 0~100)	
		Black Stabilization	(-/+, 0~22)	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
ディスプレイ	画像調整	ViewScale	フル	
			縦横比	
			1:1	
			19″ (4:3)	
			19″W (16:10)	(-/+, 0~100)
			21.5″ (16:9)	(-/+, 0~100)
			22″W (16:10)	
			23.6″W (16:9)	
			24″W (16:9)	
		コントラスト	(-/+, 0~100)	
		輝度	(-/+, 0~100)	
		シャープネス	(-/+, 0~100)	
		オーバースキャン	オン	
			オフ	
		Blue Light Filter	(-/+, 0~100)	
入力選択	HDMI 1(2.0)			
	HDMI 2			
	DisplayPort			
Viewモード	標準			
	映画			
	ウェブ			
	テキスト			
	MAC			
	モノクロ			
音声調整	音量	(-/+, 0~100)		
	ミュート	オン		
		オフ		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
設定メニュー	言語選択	English	
		Français	
		Deutsch	
		Español	
		Italiano	
		Suomi	
		Русский	
		Türkçe	
		日本語	
		한국어	
		繁體中文	
		简体中文	
		Česká	
		Svenska	
	インフォメーション		
	解像度のお知らせ	オン	
		オフ	
	起動画面	オン	
		オフ	
	OSD回転	オン	
		オフ	
	OSD表示時間	(-/+, 5/15/30/60)	
	OSD背景	オン	
		オフ	
	電源インジケーター	オン	
		オフ	
	自動電源オフ	オン	
		オフ	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
設定メニュー	スリープ	30分	
		45分	
		60分	
		120分	
		オフ	
	エコモード	標準	
		最適化	
		省電力モード	
	DDC/CI	オン	
		オフ	
	DisplayPort 1.1	オン	
		オフ	
	メモリーリセット		

メニューオプション

ゲーム設定メニュー

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**ゲーム設定**を選択します。次に、Aキーを押して、**ゲーム設定**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、メニューオプションを選択します。次に、Aキーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、設定を選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。

注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、Aキーを押してください。画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

メニューオプション	詳細
カスタム 1/2/3	3つのカスタマイズ可能な「カスタム」設定により、 個々の好みを一致させ、市場のあらゆる種類のゲームに適応させることができます。 ランペイジレスポンス モニターの応答速度を調整したいユーザーのための高度な調整機能です。より正確に必要に応じて速くなるように応答速度を調整しながら、それぞれの独自のゲームシナリオに基づいて、ぼやけやゴーストを減らすことができます。 リフレッシュレート モニターから出力されるフレーム数を制御できるモニターヘルツコントローラーです。 Black Stabilization 高められた視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。 アドバンスDCR アドバンスドDCR技術は、自動で画面信号を検出し、 スマートにバックライトの明るさと色合いをコントロールします。暗いシーンでは黒をより黒くし、明るいシーンでは白をより白くするよう調整します。 輝度 バックライトの輝度を調整します。 カラー調整 ユーザーのニーズに合わせて色設定を調節できるように、複数の色調整モードが提供されています。 Blue Light Filter 刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。 ViewScale ユーザーは、モニター上の画像の表示サイズを調整して、 「最適な」シナリオを実現することができます。 名称変更 パーソナライズされたカスタムプロファイルの名前を変更します。 リセット カスタムゲームモード設定をデフォルト値にリセットします。

メニューオプション	詳細
ゲームモード選択	ユーザーは、**ゲームモード**キーメニュー以外でゲームモードを選択できます。
AMD FreeSync	ほぼすべてのフレームレートにおいて、滑らかで不自然さのない性能を実現し、途切れ途切れのゲームプレイや破損フレームを解消します。
リフレッシュレート	モニターから出力されるフレーム数を制御できるモニターヘルツコントローラーです。

ディスプレイメニュー

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**ディスプレイ**を選択します。次に、**A**キーを押して、**ディスプレイ**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、メニューオプションを選択します。次に、**A**キーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、設定を調整/選択します。次に、**A**キーを押して確定します（該当する場合）。

注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、**A**キーを押してください。画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

メニューオプション	詳細
色温度	色温度を選択し設定することができます。 • sRGB:輝度が低くなり自然色が多くなります。 • 青色の濃さ：色温度を9,300Kに設定します。 • 寒色:色温度を7,500Kに設定します。 • 標準:デフォルトの色温度です。通常の使用に推奨されます。 • 暖色:色温度を5,000Kに設定します。 • フルカラーコントロール：RGBの値をお好みに設定できます。

メニュー オプション	詳細
カラー調整	色空間 カラー出力に使用する色空間を選択できます。 • 自動:自動的にカラーフォーマット、白黒レベルを認識します。 • RGB:入力信号の色はRGBです。 • YUV:入力信号の色はYUVです。 色範囲 ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。 • 自動:自動的にカラーフォーマット、白黒レベルを認識します。 • 最大色域:白黒レベルを最大値に設定します。 • 色域制限:白黒レベルを制限します。 ガンマ調整 モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。 彩度 それぞれの色(赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄色)の深度を調整します。 Black Stabilization 高められた視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。

メニュー オプション	詳細
画像調整	ViewScale ユーザーは、モニター上の画像の表示サイズを調整して、「最適な」シナリオを実現することができます。 コントラスト 画面の明暗を調整することができます。 輝度 バックライトの輝度を調整します。 シャープネス ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。 オーバースキャン このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。 Blue Light Filter 刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。

入力選択

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**入力選択**を選択します。次に、Aキーを押して、**入力選択**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、目的の入力ソースを選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。

Viewモード

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**Viewモード**を選択します。次に、**A**キーを押して、**Viewモード**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、設定を選択します。次に、**A**キーを押して、選択を確定します。

メニュー オプション	詳細
標準	一般的な使用の場合は、このオプションを選択します。
映画	映画を鑑賞する場合はこのオプションを選択します。
ウェブ	ウェブを閲覧する場合はこのオプションを選択します。
テキスト	テキストをベースにした作業の場合はこのオプションを選択します。
MAC	Macintoshコンピュータに接続する場合は、このオプションを選択します。
モノクロ	モノクロの場合はこのオプションを選択します。

音声調整

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**音声調整**を選択します。次に、Aキーを押して、**音声調整**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、目的のオプションを選択します。次に、Aキーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、設定を押して、設定を調整/選択し、Aキーを押して、選択事項を確定します（該当する場合）。

メニューオプション	詳細
音量	音量レベルを調整します。
ミュート	消音に設定します。

設定メニュー

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**設定メニュー**を選択します。次に、Aキーを押して、**設定メニュー**メニューに入ります。

3. ▲または▼キーを押して、メニューオプションを選択します。次に、Aキーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、設定を調整/選択します。次に、Aキーを押して確定します（該当する場合）。

注意事項： 一部のサブメニューオプションには、別のサブメニューが含まれる場合があります。それぞれのサブメニューに入るには、Aキーを押してください。画面の下部に表示されるキーガイドに従ってオプションを選択するか、調整を行います。

メニューオプション	詳細
言語選択	OSDメニューで使用可能な言語を選択します。
インフォメーション	ディスプレイ情報を表示します。
解像度のお知らせ	このオプションを有効にすると、現在の画面解像度が間違っていることをユーザーに通知することができます。
起動画面	起動画面をオンまたはオフに切り替えます。
OSD回転	OSDメニューの回転値を設定します。
OSD表示時間	OSDメニューを画面に表示しておく時間を調整します。
OSD背景	OSDメニューが画面に表示された時の、OSD背景の表示／非表示を設定します。
電源インジケーター	電源インジケーターのオンまたはオフを設定します。オンに設定している場合は、電源が入っている時に表示ランプが青く点灯します。
自動電源オフ	このオプションを有効にすると、一定の時間が経つと自動で電源をオフにすることができます。
スリープ	ディスプレイがスリープモードに入るまでの待機時間を設定します。
エコモード	消費電力に基づいて、様々なモードの中からユーザーが選択することができます。
DDC/CI	このオプションを有効にすると、グラフィックカードからディスプレイをコントロールすることができるようになります。
DispayPort 1.1	DisplayPort1.1対応を有効/無効にします。
メモリーリセット	すべての設定をデフォルト値にリセットします。

> 拡張機能と設定

本セクションではモニターの拡張機能と設定について説明します。

ランペイジレスポンス

ランペイジレスポンス設定を調整することにより、応答速度を微調整できます。選択可能な5つの設定により、各使用シナリオに最適なものを正確に選択できます。

各設定により応答速度を上げることにより、PCとゲームタイプを一致させることができ、「最適な」シナリオを作成できます。

ランペイジレスポンス機能を有効にするには：

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**ゲーム設定**を選択します。次に、Aキーを押して、**ゲーム設定**メニューに入ります。
3. ▲または▼キーを押して、**カスタム 1/2/3**を選択します。次に、Aキーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、**ランペイジレスポンス**を選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。
5. ▲または▼キーを押して、希望の応答速度を選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。

リフレッシュレート

モニターから出力されるフレーム数を制御モニターヘルツコントローラーです。モニターは、モニターからレンダリングできる最大フレーム数に上限を設定して、電力を節約し、モニター側から負荷をかけます。

リフレッシュレートを調整するには：

1. **▲/▼/A/B**キーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**ゲーム設定**を選択します。次に、**A**キーを押して、**ゲーム設定**メニューに入ります。
3. ▲または▼キーを押して、**カスタム 1/2/3**を選択します。次に、**A**キーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、**リフレッシュレート**を選択します。次に、**A**キーを押して、選択を確定します。
5. ▲または▼キーを押して、希望のフレーム出力を選択します。次に、**A**キーを押して、選択を確定します。

注意事項：

- FreeSyncは、標準144Hzでしか使用できません。
- ViewScaleは、すべてのHzレベルをサポートするわけではありません。

ViewScale

ViewScaleでは、特定の使用シナリオに合わせて、現在のアスペクト比を調整できます。以下はアスペクト比の一覧です。

注意事項： 標準ではないViewScaleアスペクトモードを選択した場合、ユーザーのエクスペリエンスに影響を与える可能性があります。

ViewScaleを有効にするには：

1. ▲/▼/A/Bキーを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示します。
2. ▲または▼キーを押して、**ゲーム設定**を選択します。次に、Aキーを押して、**ゲーム設定**メニューに入ります。
3. ▲または▼キーを押して、**カスタム 1/2/3**を選択します。次に、Aキーを押して、そのサブメニューに入ります。
4. ▲または▼キーを押して、**ViewScale**を選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。
5. ▲または▼キーを押して、希望のアスペクト比を選択します。次に、Aキーを押して、選択を確定します。

アスペクト比	詳細
フル	画面いっぱいに入力画像を拡大縮小します。これはデフォルトの入力選択で、16:9の画像に最適です。
縦横比	入力画像を歪ませることなく画面いっぱいに拡大縮小させることができます。
1:1	画像は拡大縮小せずに直接表示されます。
19″(4:3)	入力画像を4:3の縦横比と19インチの画面サイズにシミュレートします。
19インチW（16:10）	入力画像を16:10の縦横比と19インチWの画面サイズにシミュレートします。
21.5″(16:9)	入力画像を16:9の縦横比と21.5インチの画面サイズにシミュレートします。
22″W(16:10)	入力画像を16:10の縦横比と22インチWの画面サイズにシミュレートします。
23.6″W(16:9)	入力画像を16:9の縦横比と23.6インチWの画面サイズにシミュレートします。
24″W(16:9)	入力画像を16:9の縦横比と24インチWの画面サイズにシミュレートします。

> 付録

仕様

項目	区分	仕様
LCD	タイプ	TFT、アクティブマトリックス1920 x 1080 LCD、 0.31125 mm x 0.31125 mmピクセルピッチ
	画面サイズ	68.6 cm、27インチ（27インチ視界）
	カラーフィルタ	RGB 垂直ストライプ
	表面素材	防眩タイプ、3Hハードコート加工
入力信号	ビデオシンク	TMDSデジタル（100 Ω） HDMI 1.4: f_h:15-180 Khz, f_v:24-144 Hz HDMI 2.0: f_h:15-180 Khz, f_v:24-144 Hz DisplayPort 1.2: f_h:15-180 Khz, f_v:48-144 Hz
互換性	PC	1920×1080ピクセル以下
	Macintosh	1920×1080ピクセル以下
	推奨周波数	1920 x 1080 @ 60Hz
解像度[1]	対応	• 1920 x 1080 @ 100, 120, 144Hz • 1680 x 1050 @ 60Hz • 1440 x 900 @ 60Hz • 1280 x 1024 @ 60, 75Hz • 1024 x 768 @ 60, 70, 75Hz • 800 x 600 @ 56, 60, 72, 75Hz • 720 x 400 @ 70Hz • 640 x 480 @ 60, 72, 75Hz
電源アダプタ[2]	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
表示領域	全領域 (H × V)	597.6 x 336.15 mm (23.53″ x 13.23″)
動作環境	気温	0℃～40℃（32°F～104°F）
	湿度	20%～90% (非結露)
	高度	3.048 km（10,000フィート）
保管環境	気温	-20℃～60℃（-4°F～140）
	湿度	5%～90% (非結露)
	高度	12.1 km（40,000フィート）
寸法	寸法 (W x H x D)	642 x 436.2~556.2 x 239.2 mm (25.28″ x 17.17″ x 9.42″)
VESAマウント	寸法	100 x 100 mm
重量	寸法	8.95 kg (19.73 lbs)
省電力モード	オン[3]	37W (標準)
	オフ	< 0.5W

[1] グラフィックカードをご使用の際は、仕様表の値を超える数値を設定するとディスプレイの故障につながる恐れがあるためご注意ください。

[2] ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタのみをご使用してください。

[3] 試験条件はEEI標準に従ったものです。

用語説明

本章では、全てのLCDディスプレイモデルで使用される用語について説明します。全ての用語は、アルファベット順に記載しております。

注意事項： お使いのモニターに該当しない条項もあります。

A

アドバンスDCR

アドバンスドDCR技術は、自動で画面信号を検出し、スマートにバックライトの明るさと色合いをコントロールします。暗いシーンでは黒をより黒くし、明るいシーンでは白をより白くするよう調整します。

AMD FreeSync

AMD FreeSync™技術は、ほぼすべてのフレームレートにおいて、滑らかで不自然さのない性能を実現し、途切れ途切れのゲームプレイや破損フレームを解消します。FreeSyncを利用する場合は、モニターとGPUのFreeSyncオプションが有効になっていることを確認してください。

音声調整

音量調整やミュート設定を行うことができます。また、入力元が2つ以上ある場合は、入力を切り替えることができます。

自動検出

現在の入力元からの信号がない場合、ディスプレイが自動で他の入力オプションに切り替わるように設定します。一部のモデルでは、この機能はデフォルトで無効になっています。

B

Black Stabilization

ViewSonicのBlack Stabilizationは、高い視認性と暗い場面を明るくすることにより精細な描写をご提供します。

Blue Light Filter

刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。

起動画面

起動画面をオフにすると、モニターの電源を入れたときに画面に表示されるメッセージが表示されなくなります。

輝度

バックライトの輝度を調整します。

C カラー調整

ユーザーのニーズに合わせて色設定を調節できるように、複数の色調整モードが提供されています。

色範囲

ディスプレイは、自動で色域の入力信号を検知することができます。表示されている色が間違っている場合は、色域オプションを変更して正しい色に合わせることができます。

オプション	詳細
自動	ディスプレイが自動的にカラーフォーマットと白黒レベルを検出します。
全範囲	白黒レベルを最大値に設定します。
限定範囲	白黒レベルは制限されています。

色空間

色空間をRGBまたはYUVから選択し、ディスプレイからの色出力を変更することができます。

色温度

特定の色温度を選択し、更にカスタマイズした視聴設定をすることができます。

パネルのデフォルト	初期値
sRGB	Windowsシステムに使用される標準の色空間
青色の濃さ	色温度を9,300Kに設定します。
寒色	色温度を7,500Kに設定します。
標準	デフォルトの色温度です。一般的な使用に推奨されます。
暖色	色温度を5,000Kに設定します。

ColorX

テンポの速いアクションのための、スピードとカラーのバランスをとる独自のカラーモードです。俊敏な反射神経と素早い反応のための正確な色を必要とするゲームに最適です。

コンソール

画面の明暗を調整することができます。

コントラスト

画面の明暗を調整することができます。

G ゲームモード

事前に較正済みのFPS、RTS、MOBAゲーム設定など、ゲームに特化したOSDデザインを備えています。各モードは、色と技術を最良の状態で融合させるゲーム内テストや調整を利用して、機能的にカスタマイズされています。

Gaming Lite

非競争的なゲーム向けにゲームプレイを最適化し、モニターの負荷と電力を低減し、長期的なパフォーマンスを向上させるためにViewSonic®が開発したゲームモードです。

ガンマ調整

モニターのグレイスケールレベルの輝度レベルを手動で調整できます。3つのレベルを選択できます：1.8、2.2、および2.6。

H 色相

それぞれの色の色調を調節します（赤、緑、青、藍色、深紅色、黄色）。

I インフォメーション

コンピュータのグラフィックカードから送られる入力信号、LCDモデル番号、シリアル番号、ViewSonic®ウェブサイトURLを表示します。グラフィックカードの解像度とリフレッシュレートを変更したい場合は、グラフィックカードのユーザーガイドを参照してください。

注意事項： 例えば、VESA 1024 x 768 @ 60Hzは、解像度が1024 x 768で、リフレッシュレートが60Hzであることを意味します。

入力選択

ご使用のディスプレイで利用可能な各種入力オプションを切り替えます。

L 低入力遅延

ViewSonic® では、モニター処理減力を活用して信号遅延を軽減する低入力遅延を選択できます。「低入力遅延」サブメニューでは、オプションの中から使用目的に合う適切な速度を選択できます。

M 画像調整

画像調整メニューを表示すると、様々な画面調整を行うことができます。

メモリーリセット

ディスプレイが本マニュアルの「仕様」に記載されている工場出荷時のプリセットタイミングモードで動作している場合、工場出荷時の設定に調整を戻します。

注意事項： （例外）この操作が「言語選択」または「電源ロック設定」で実行された変更に影響を与えることはありません。

O オフセット

赤、緑、青の黒レベルを調整します。ゲインとオフセット機能により、コントラストや暗いシーンを操作する際に、ユーザーが最前面のコントロールのホワイトバランスを制御できます。

OSD回転

ディスプレイのOSDメニューの表示方向を設定します。

オプション	詳細
自動	内蔵Gセンサーを使用すると、垂直に配置すると、OSDは自動的にピボットします。
0°	OSDメニューをピボットなしに設定します。
+90°	OSDメニューを右方向に+90°回転します。
-90°	OSDメニューを右方向に-90°回転します。

オーバースキャン

このオプションを有効にすると、アスペクト比を変更せずに画面サイズに合わせて画面を引き延ばします。

P 電源インジケーター

モニターの電源がオンかオフかを示すライトです。また、この設定はスタンドの照明を制御します。「電源インジケーター」の下で、照明効果をオフに切り替えることができます。さらに、電源インジケーターは、画面が受信した入力色信号を直接解釈した平均色を表示します。

R

ランペイジレスポンス

モニターの応答速度を調整したいユーザーのための高度な調整機能です。5つの異なるレベルを選択し、より正確に必要に応じて速くなるように応答速度を調整しながら、それぞれの独自のゲームシナリオに基づいて、ぼやけやゴーストを減らすことができます。

リセット

ディスプレイのView Mode設定をリセットします。

解像度のお知らせ

視聴解像度が正しくない場合にユーザーにお知らせします。解像度設定時に、設定内に通知が表示されます。

S

設定メニュー

オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの設定を調整します。
ほとんどの設定を、オンスクリーンディスプレイ通知で有効にすることができますので、ユーザーが再度メニューを開く必要がありません。

シャープネス

ディスプレイの写真の鮮明度と品質を調整します。

V

Viewモード

ViewSonic独自のViewMode機能には、あらかじめ「ゲーム」、「映画」、「ウェブ」、「テキスト」、「MAC」、「モノクロ」がプリセットされています。これらのプリセットは、様々な画面の用途に合わせて最適な状態で視聴いただけるように、特別に設計されています。

ViewScale

モニター上の画像の表示サイズを調整して、「最適な」シナリオを実現することができます。

トラブルシューティング

本章では、ディスプレイをご使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
電源が入らない	• **電源**ボタンを押して、モニターをオンにしているかご確認ください。 • 電源コードがモニターと電源コンセントにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別の電気装置をコンセントに差し込み、コンセントが電力を供給していることを確認してください。
電源が入っているが、画面何も表示されない	• モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。 • 明るさとコントラストの設定を調整してください。 • 正しい入力源が選択されているかご確認ください。
色が違う、又はおかしい	• いずれかの色（赤、緑、青）が欠けている場合は、ビデオケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性があります。 • ディスプレイを他のコンピュータに接続してご確認ください。 • 古いグラフィックスカードをお持ちの場合、DDC以外のアダプタについては、ViewSonic®にお問い合わせください。
画像が明る過ぎる、又は暗すぎる	• OSDメニューから輝度とコントラスト設定を調節してください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面がちらつく、点滅する	• 正しい入力源が選択されているかご確認ください。 • ビデオケーブルのコネクタに、曲がったピンや壊れたピンがないかご確認ください。 • モニターをコンピュータに接続しているビデオケーブルが、正しい状態でしっかりと接続されているかご確認ください。
画像がぼやけている	• 解像度を正しいアスペクト比に調整してください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
画面が正しく中央に配置されていない	• OSDメニューから水平および垂直コントロールを調整してください。 • アスペクト比をご確認ください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。

問題	解決策
画面が黄色い	• ブルーライト低減がオフになっている事を確認してください。
OSDメニューが画面に表示されない/OSDコントロールにアクセスできない	• OSDメニューがロックされていないかご確認ください。 • ディスプレイの電源を切り、電源コードを抜いて挿し直してください。その後、ディスプレイの電源を再度入れてください。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
コントロールパネルキーが動作しない	• 一度に押すキーは一つだけにしてください。 • コンピュータを再起動してください。
OSDメニューに選択できない項目がある	• ViewModeまたは入力ソースを調整します。 • モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
音が出ない、又は音量が小さい	• イヤフォン/ヘッドフォンを使用する場合は、ミニステレオジャックが接続されていることをご確認ください。 • 音量がミュートされていたり、0に設定されていないかご確認ください。 • オーディオ入力設定が正しく設定されているかご確認ください。
ディスプレイが調整できない	• ディスプレイの周囲に障害物がないことを確認の上、十分なスペースを確保してください。 • 詳細については、"視聴角度の調整"ページ19を参照してください。
USBデバイスをディスプレイに接続しても動作しない	• USBケーブルがディスプレイとUSBデバイスにしっかりと接続されているかご確認ください。 • 別のUSBポートに変えてみてください（該当する場合）。 • USBデバイスの中には使用電力が高いものがございます。その場合はUSBデバイスをコンピュータへ接続して動作をご確認ください。
外付けデバイスを 接続しても、画面に画像が表示されない	• ディスプレイの電源が入っていることをご確認ください。 • OSDメニューから輝度とコントラストを調節してください。 • 接続ケーブルを確認し、適切かつしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタが緩んでいたり、破損している場合は接続不良の可能性があります。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- ディスプレイのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- ディスプレイは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic®は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、ディスプレイの画面および/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

> 規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-3（B）/NMB-3（B）

欧州諸国のCE適合

本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。

次の情報は、EU加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU（WEEE）に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。

RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛（Pb）	0.1%	< 0.1%
水銀（Hg）	0.1%	< 0.1%
カドミウム（Cd）	0.01%	< 0.01%
26/5000 六価クロム（Cr6+）	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル（PBB）	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル（PBDE）	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています：

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯（CCFLおよびEEFL）の水銀（ランプあたり）：
  - » 短いランプ（500 mm）：ランプあたり最大3.5 mg。
  - » 中程度のランプ（500 mm～1,500 mm）：ランプあたり最大5 mg。
  - » 長いランプ（1,500 mm以上）：ランプあたり最大13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量0.2 %を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量0.4 %までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量4 %まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85 %以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明（インド）。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに
対する濃度が0.01重量%を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピュティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、

ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

米国およびカナダ：

http://www.viewsonic.com/company/green/recycle-program/

欧州：

http://www.viewsoniceurope.com/eu/support/call-desk/

台湾：

https://recycle.epa.gov.tw/

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2019.All rights reserved. 版権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁（EPA）の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項：ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic®Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

XG2702_UG_JPN Rev. 1A 20181101

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.viewsonic.com/jp/support

ViewSonic®